

特区の取組のポイント及び地元の主体的な取組

◆取組のポイント

- ①国内随一の再エネポテンシャルを最大限に活用した、**G X産業の集積**と**金融機能の強化集積**。
- ②G X事業情報や投資情報等を集約し、事業者と投資家を結びつける**G X情報に関するプラットフォーム「(仮称) Sapporo-Hokkaido Green Hub」**を構築。
- ③道内のGX事業を国際基準で認証する「**GX事業認証制度を創設**」し、世界中の投資意欲を喚起。
- ④新技術やイノベーションを生み出す「**スタートアップの創出・育成**」、G X産業を支える「**人材確保・人材育成**」を強化。
- ⑤北海道の多様性のある広い大地を有効に活用し、「**AIに関する実証・実装促進地域**」を設定。

◆地元の主体的な取組

快適なビジネス環境の整備

- (1)規制緩和等 (札幌市)
 - ・行政手続の英語対応
(住民登録・住民票、印鑑登録・印鑑証明書の英語化)
- (2)税制優遇等 (市税)
 - ・金融機能の強化集積
(札幌初進出の金融系外国企業への税制優遇等の検討)
 - ・G X産業集積
(札幌市でGX事業を行う法人への税制優遇等の検討)

(3)ビジネス・暮らしの英語ワンストップ相談窓口の開設

- ・英語でビジネス及び従業員の暮らしに関する相談対応
- ・英語対応専門の土業確保
- ・各種手続きの代行サービス
- ・英語対応可能な保育、教育、病院等の情報提供

- (4)高機能オフィス確保
(容積率緩和等による整備誘導等)
- (5)丘珠空港のビジネスジェット利用促進
(国内外の空港調査等)
- (6)諸外国から新千歳空港への直行便の拡充

魅力溢れる生活環境の整備

- (7)インターナショナルスクール誘致、
新たな国際バカロレア(海外大学でも通用する国際教育プログラム)導入校の設置検討
- (8)キャッシュレス化の促進
(タッチ決済による地下鉄乗車実験)
- (9)外国人の安全・快適な移動に
資する案内サイン等の充実

誘致活動・情報発信の強化 スタートアップ・人材育成の強化

- (10)海外資産運用会社等の誘致強化
(誘致体制の拡充等)
- (11)G X事業を行う企業の誘致強化・
ビジネスマッチング拡充
(道市共同トップセールス実施等)
- (12)スタートアップの創出・育成強化、
ビジネスマッチング拡充
(GX分野のネットワークを有するマネージャーの配置等)
- (13)G X情報プラットフォーム [(仮称)
Sapporo-Hokkaido GreenHub]構築、
G X事業認証制度 [(仮称)Sapporo-Hokkaido Green Label]創設
- (14)人材確保・人材育成の強化
(産業、商工・中小事業者、金融機関、学生それぞれに向けた普及啓発・情報発信)
- (15)G X、環境金融関連の国際
会議・イベント等による情報発信強化